

第 145 回（2022 年度秋季）大会若手研究者優秀賞選考報告

1. 選考の経緯

・9月15日 第1回委員会

9月15日の幹事会（オンライン）にて、石井まこと、垣田裕介、水野有香、森詩恵の4名の委員が選出された。幹事会終了後に、委員長を互選により石井とし、手順・日程を確認した。

・9月21日 第2回委員会

報告者の中から審査対象となる報告について、委員会で精査し8人で確定した。そのフルペーパーを秋季大会企画委員会より入手し、次回委員会で絞り込むこととした。

・9月27日 第3回委員会

該当した8人の報告のうち2人に絞り込み、次回委員会で決定することとした。

・10月3日 第4回委員会

絞り込んだ2人について審査をしたが、2人とも優秀賞の水準にまで達していないため、今回は優秀賞の授与を見送ることとした。

・10月8～9日 大会

2. 選考の結果（受賞作）

該当作品なし。

3. 審査講評

今回の若手研究者優秀賞は、対象作は8本ありましたが、残念ながら、該当作はありませんでした。若手研究者優秀賞であり、荒削りでも今後の研究に期待ができる作品、特に地道に研究を積み重ねている作品を評価し、どなたかに若手研究者優秀賞を出そうと委員会では審議しました。

しかしながら、提出されたフルペーパーで判断した結果、主張と論理・エビデンスには一定の開きがあり、主張に説得性を見出すことができませんでした。また、これまで受賞してきた若手賞の論文の水準と比べて、やや見劣りがすることもありました。テーマは興味深い作品もありましたが、学会誌に掲載する論文にはかなりの追加修正も必要と判断され、このような結果になりました。

是非、次回はこうしたことがないよう、委員会からのお願いがあります。若手賞は提出されたフルペーパーで判断されます。是非、フルペーパーで若手賞が評価されているということ念頭において、学会報告へエントリーされることを切に期待しております。

選考委員：石井まこと、垣田裕介、水野有香、森詩恵